

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	府中市地域
②都道府県	東京都
③計画作成主体	府中市
④計画期間	平成17年度 ～ 平成21年度
⑤計画の目標	『型別供給の原則に基づく、市営住宅における世帯人数と居住規模のミスマッチの解消を推進する。』 『高齢社会に対応するため、既存ストックを有効に活用し、市営住宅におけるバリアフリー化を推進する。』 『災害に強く、快適に住むことができるまちづくりを進めるため、昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震性を高める。また、環境に配慮しつつ、同じ地域に住み続けられるよう住環境の向上を実現する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	府中市において評価を実施(平成22年5月)
⑦事後評価の結果	<p>指標①:「市営住宅における世帯人数と居住規模のミスマッチの割合」 定 義:市営住宅における世帯人数と居住規模のミスマッチ(人数<居住規模)の割合 評価方法:平成22年3月31日時点における、府中市営住宅管理戸数に対するミスマッチ世帯の割合 結 果:従前値:18%(平成16年度)⇒目標値:15%(平成21年度) ⇒実績値:20%</p> <p>結果の分析:建替事業による市営住宅の管理戸数が増加及びそれに伴う入居変更等により、ミスマッチの割合が改善されると予想していたが、世帯員の変動によるミスマッチ住戸の増加数がミスマッチ改善住戸数を上回った。</p> <p>指標②:「市営住宅におけるバリアフリー化住宅の割合」 定 義:市営住宅におけるバリアフリー化された戸数の割合 評価方法:平成22年3月31日時点における、市営住宅のバリアフリー化率 結 果:従前値:44%(平成16年度)⇒目標値:50%(平成21年度) ⇒実績値:51.7%</p> <p>結果の分析:地域住宅計画期間中における市営住宅の建替えを予定通り実施できたことにより、目標を達成することができた。</p> <p>指標③:「民間木造住宅の耐震改修の実施棟数」 定 義:府中市内における民間木造住宅の耐震改修等の実施棟数 評価方法:平成17年度から平成21年度までにおいて、府中市の補助金を受けた耐震改修等の実施棟数 結 果:従前値:0棟(平成16年度)⇒目標値:70棟(平成21年度) ⇒実績値:30棟</p> <p>結果の分析:耐震改修等の実施棟数が予定よりも少なかったため。</p>
⑧結果の公表方法	府中市ホームページにて公表を行う。

3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>目標を達成するための指標のうち、ミスマッチの割合及びバリアフリー化住宅の割合については、建替事業の実施等により更に改善をすすめていく必要がある。</p> <p>また、耐震改修等については、今後も継続して様々な場所で耐震診断及び耐震改修の重要性について啓発事業を行い、実施棟数を増やしていく必要がある。</p>
⑩その他	

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。